



2025年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月15日

上場会社名 株式会社WOLVES HAND 上場取引所 東
コード番号 194A URL <https://wolveshand.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 北井 正志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CF0兼経営管理本部長 (氏名) 田中 哲生 TEL 06 (6599) 9106
定時株主総会開催予定日 2025年9月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年9月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績(2024年7月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	5,463	9.5	909	9.9	908	13.4	593	6.2
2024年6月期	4,990	7.3	827	3.0	800	0.0	558	10.3

(注) 包括利益 2025年6月期 593百万円 (6.2%) 2024年6月期 558百万円 (10.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	79.34	78.04	24.6	15.4	16.6
2024年6月期	75.20	73.25	30.7	14.3	16.6

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 △2百万円 2024年6月期 △3百万円

(注) 2024年6月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2024年6月20日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から2024年6月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	6,049	2,715	44.9	363.34
2024年6月期	5,784	2,113	36.5	282.80

(参考) 自己資本 2025年6月期 2,715百万円 2024年6月期 2,113百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	948	△388	△575	895
2024年6月期	857	△434	△193	910

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,753	5.3	995	9.5	1,007	10.9	643	8.6	86.13

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社 （社名）株式会社そよかぜ、株式会社バハティール、除外 2社 （社名）株式会社ペットメディカル
センター・エイル、株式会社モデナ動物病院

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期	7,974,000株	2024年6月期	7,974,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期	500,000株	2024年6月期	500,000株
③ 期中平均株式数	2025年6月期	7,474,000株	2024年6月期	7,425,502株

（注）1. A種種類株式は剰余金の配当請求及び残余財産の分配請求について普通株式と同等の権利を有しているため、2024年6月期の「期中平均株式数」には、A種種類株式を含めております。
2. 当社は、2024年1月30日開催の取締役会において、A種種類株式のすべてについて、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2024年2月14日付で自己株式として取得し、その対価としてA種種類株式1株につき、普通株式1株を交付しております。なお、当社が取得したA種種類株式のすべてについて、会社法第178条に基づき同日付で消却しております。それに伴い、2024年2月15日開催の臨時株主総会により、2024年2月15日付でA種種類株式に係る定款の定めを廃止しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善等を背景に穏やかな回復が見られるものの、原材料価格の高騰や物価上昇、米国の経済・外交政策による国際的な貿易環境の変化等により依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、ペット用品市場の堅調さや、家計のペット向け支出が拡大傾向にある中、ペットの家族化、高齢化を背景にした世帯あたりの動物病院への支出額の増加傾向の基調に変わりはなく、飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請はますます高まっているものと認識しております。

このような情勢のもと、当社グループは、生き物の命を救い、守り続けることを唯一の目的とする「Animal is my life」を企業理念として掲げ、ありきたりな医療サービスの提供ではなく、感動を与えられる医療サービスの提供に努めることで、人と動物がより幸福を感じられる環境を構築し、すべてのステークホルダーの皆さまへ貢献できるよう、持続的な発展を目指しております。

当連結会計年度の売上高につきましては、動物病院事業の業容拡大を企図し、2024年8月に埼玉県で動物病院を3病院運営する株式会社そよかぜを子会社化、2024年9月には東京都八王子市に動物病院を開院、2025年1月に兵庫県西宮市において安田動物病院（現 甲子園動物病院）の事業譲受を行い、更に2025年2月に滋賀県守山市で動物病院を1病院運営する株式会社バハティールを子会社化し収益力の強化を図る他、既存病院の増収もありグループ全体の売上高は堅調に推移いたしました。

営業利益につきましては、M&Aや株主総会等に伴う一時的な費用増加がある中でも前年を上回っており、一時費用を除いた営業利益については前年同期比17.4%増となっております。

また、動物病院事業以外の事業として、当社グループが有する臨床基盤を生かし、動物医療にかかる創薬や商品の研究開発活動を強化し、動物医療における臨床以外の新たな収益源の創出に取り組んでおり、下記のとおり共同研究契約等を締結しております。

会社名	開始月	進捗状況	内容
株式会社日健協サービス エレメンツ株式会社	2024年7月	臨床試験中	天然酵母「生きてる酵母」を用いた小動物向けサプリメントの開発
C E L L株式会社	2024年7月	臨床試験中	動物用癌再発予防のための新アジュバント(※1)の動物用医薬品化に向けた研究
株式会社Trans Chromosomics 第一三共株式会社	2024年7月	臨床にかかる 定例協議継続中	非ヒト動物用バイオ医薬品の開発のための臨床開発プラットフォーム共同組成にかかるコンソーシアム
株式会社Cancer Precision Medicine	2024年7月	臨床試験中	リキッドバイオブシー(※2)によるがんの早期発見に係る共同研究契約
株式会社ファーストクラス	2024年8月	臨床試験中	動物用幹細胞上清液の動物医療領域への応用にかかる共同研究
レキシシージャパン株式会社	2024年9月	臨床にかかる 定例協議継続中	磁気を用いた生体活性化によるペット用品等の共同研究
株式会社StateArt	2024年9月	臨床試験中	動物用リポソーム試薬とそれを用いたレーザー光線治療に関する研究
株式会社トライアングル	2024年9月	臨床にかかる 定例協議継続中	動物用生体監視システム等の開発研究
株式会社マリンナノファイバー	2024年10月	臨床試験中	キチンナノファイバー(※3)試薬とそれを用いた創傷治療に関する共同研究

※1. アジュバントとは免疫賦活剤で、免疫反応を促進、増強させる物質です。一般的にはワクチンと一緒に投与され、ワクチンの効果を高めるために使用されています。

※2. リキッドバイオブシーは、血液などの体液を用いて疾患の診断や治療法の選択、治療効果の予測などを行う技術です。がん細胞から血液中に流れ出した微量な遺伝子変異を見つげられることから、がんの早期発見や適切な治療薬の選択、再発のモニタリングに有用であると考えられています。従来の組織生検に比べて身体への負担が少なく繰り返し検査を行うことができ、全身の状態をリアルタイムに調べられることが特長です。

※3. キチンナノファイバーとは、カニ殻などの甲殻類の外皮から「キチン」という糖質を超極細繊維(10～20nm)の状態に取り出したもの。ナノファイバーにすることで、従来のキチン粉末ではできなかった、水中での均一な分散性が実現され、他の材料との配合・成形が容易となっている。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高5,463,817千円(前年同期比9.5%増)、営業利益909,462千円(前年同

期比9.9%増) (※4)、経常利益908,605千円(前年同期比13.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益593,016千円(前年同期比6.2%増)となりました。

※4. 当連結会計年度において発生したM&A及び株主総会等に伴う一時的な費用62,313千円を除いた調整後営業利益は、971,776千円(前年同期比17.4%増)となっております。

なお、当社グループの事業セグメントは、動物病院事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は6,049,974千円となり、前連結会計年度末と比べて265,501千円増加いたしました。

流動資産は1,387,190千円となり、前連結会計年度末と比べて89,943千円増加いたしました。これは主に、売掛金が41,581千円、その他流動資産が96,385千円増加する一方、現金及び預金が15,549千円減少したこと等によるものがあります。

固定資産は4,662,784千円となり、前連結会計年度末と比べて175,558千円増加いたしました。これは主に、のれんが182,069千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は3,334,366千円となり、前連結会計年度末と比べて336,476千円減少いたしました。

流動負債は1,956,790千円となり、前連結会計年度末と比べて826,277千円増加いたしました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入が696,478千円、未払法人税等が97,618千円、未払消費税等が42,352千円増加したこと等によるものであります。なお、1年以内返済予定の長期借入金は上場前のLB0にかかる借入の返済予定分により増加しておりますが、今後のM&A戦略等も見据えて、リファイナンスについて金融機関と協議を進めております。

固定負債は1,377,575千円となり、前連結会計年度末と比べて1,162,754千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が1,149,153千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は2,715,608千円となり、前連結会計年度末と比べて601,977千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が593,016千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、895,330千円となり、前連結会計年度末と比べて15,549千円減少いたしましたが、当連結会計年度においては、新規の借入を行わずに前連結会計年度と同規模の事業投資を行った中で、資金について前連結会計年度と同水準を維持しており、財務健全性は向上しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、948,558千円(前連結会計年度は857,526千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益907,159千円、減価償却費188,070千円、のれん償却額162,141千円、法人税等の支払額247,043千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、388,735千円(前連結会計年度は434,280千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出111,142千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出303,282千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、575,372千円(前連結会計年度は193,932千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出550,278千円等によるものであり、前連結会計年度においては長期借入金による収入300,000千円があったため、前連結会計年度に比べて増加しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善や各種政策等により景気は引き続き緩やかな回復基調にて推移すると見込まれるものの、原材料・エネルギー価格の上昇や為替動向に加え、米国の経済・貿易政策による影響等、先行きは不透明な状況が続くと想定されます。

動物医療市場につきましては、近年堅調に市場規模の拡大を継続しており、ペットのコンパニオンアニマル化や高齢化に伴い、飼い主がペット（犬・猫）にかかる1匹当たり年間支出額も増加傾向にあることから、市場規模の拡大傾向は今後も継続すると予想しております。

このような環境のもと当社グループは、動物病院数及び診療エリアの拡大を達成するために、獣医師採用活動の強化を継続して、獣医師数の増加を図るとともに、後継者不足や病院経営に悩みを抱えている動物病院に対しての事業承継の受け皿となることで、自社での病院開設及び事業承継・M&Aの両輪で事業規模の積極的な拡大を図っていく予定です。

さらに、以前から当社グループは電子カルテシステム『わん太郎』を開発導入しており、また、VMNシステムによる獣医師の診断力向上のためのDB化を進めておりますが、さらなる成長戦略として、当社グループの動物医療用DBの有機的一体化を図り、予防医療等サービス向けの診断解析技術の高度化や人工知能（AI）による診療支援や記録補助など、次世代型のシステム開発に取り組んでまいります。

また、現在取り組んでいる動物医療にかかる創薬や商品の研究開発活動を強化し、動物医療における臨床以外の新たな収益源の創出を推進してまいります。

以上のことから、2026年6月期の業績見通しは、売上高5,753,677千円（前年同期比5.3%増）、営業利益995,794千円（前年同期比9.5%増）、経常利益1,007,562千円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益643,753千円（前年同期比8.6%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、M&A及びその他の事業拡大に関する施策については、実行タイミング等が不確定であるため上記の業績予想には織り込んでいないため、今後の進展と重要性に応じて業績予想の見直し判断を行ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	910,879	895,330
売掛金	237,048	278,629
商品	75,814	86,051
その他	75,286	171,671
貸倒引当金	△1,782	△44,493
流動資産合計	1,297,246	1,387,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	861,806	849,099
工具、器具及び備品（純額）	216,087	202,044
土地	1,624,408	1,624,408
リース資産（純額）	10,656	2,925
その他（純額）	1,810	8,703
有形固定資産合計	2,714,770	2,687,181
無形固定資産		
のれん	1,471,068	1,653,138
ソフトウェア仮勘定	93,005	91,685
その他	5,743	11,073
無形固定資産合計	1,569,817	1,755,896
投資その他の資産		
関係会社株式	27,651	24,317
長期前払費用	40,077	33,998
差入保証金	54,862	59,241
繰延税金資産	80,043	102,147
その他	2	—
投資その他の資産合計	202,637	219,706
固定資産合計	4,487,225	4,662,784
資産合計	5,784,472	6,049,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,590	91,611
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	457,734	1,154,213
リース債務	13,401	7,886
契約負債	17,733	25,735
未払金	247,367	239,691
未払法人税等	127,551	225,169
未払消費税等	49,517	91,869
その他	28,616	20,432
流動負債合計	1,130,512	1,956,609
固定負債		
長期借入金	2,423,347	1,274,194
リース債務	7,576	181
資産除去債務	98,878	97,512
繰延税金負債	3,488	—
その他	7,038	5,868
固定負債合計	2,540,329	1,377,756
負債合計	3,670,842	3,334,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,710	107,710
資本剰余金	2,578,997	2,578,997
利益剰余金	△323,077	278,900
自己株式	△250,000	△250,000
株主資本合計	2,113,630	2,715,608
純資産合計	2,113,630	2,715,608
負債純資産合計	5,784,472	6,049,974

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,990,639	5,463,817
売上原価	3,617,213	3,982,901
売上総利益	1,373,425	1,480,915
販売費及び一般管理費	545,956	571,452
営業利益	827,469	909,462
営業外収益		
受取販売奨励金	15,007	25,273
保険戻戻金	3,187	38,346
その他	5,475	10,831
営業外収益合計	23,670	74,451
営業外費用		
支払利息	15,703	24,533
資金調達費用	4,654	5,046
上場関連費用	24,245	—
貸倒引当金繰入額	—	42,000
持分法による投資損失	3,651	2,776
その他	1,985	952
営業外費用合計	50,241	75,308
経常利益	800,898	908,605
特別利益		
固定資産売却益	—	8,011
受取補償金	22,447	—
特別利益合計	22,447	8,011
特別損失		
固定資産除却損	1,508	1,020
減損損失	286	8,437
特別損失合計	1,794	9,457
税金等調整前当期純利益	821,550	907,159
法人税、住民税及び事業税	222,600	330,774
法人税等調整額	40,543	△16,631
法人税等合計	263,143	314,143
当期純利益	558,406	593,016
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	558,406	593,016

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益	558,406	593,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	—
その他の包括利益合計	△170	—
包括利益	558,236	593,016
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	558,236	593,016

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	2,561,287	△881,484	△250,000	1,519,803
当期変動額					
新株の発行	17,710	17,710			35,420
親会社株主に帰属する当期純利益			558,406		558,406
連結範囲の変動			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	17,710	17,710	558,406	—	593,826
当期末残高	107,710	2,578,997	△323,077	△250,000	2,113,630

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	170	170	1,519,974
当期変動額			
新株の発行			35,420
親会社株主に帰属する当期純利益			558,406
連結範囲の変動			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△170	△170	△170
当期変動額合計	△170	△170	593,656
当期末残高	—	—	2,113,630

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,710	2,578,997	△323,077	△250,000	2,113,630
当期変動額					
新株の発行					—
親会社株主に帰属する当期純利益			593,016		593,016
連結範囲の変動			8,961		8,961
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	601,977	—	601,977
当期末残高	107,710	2,578,997	278,900	△250,000	2,715,608

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	—	—	2,113,630
当期変動額			
新株の発行			—
親会社株主に帰属する当期純利益			593,016
連結範囲の変動			8,961
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—
当期変動額合計	—	—	601,977
当期末残高	—	—	2,715,608

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	821,550	907,159
減価償却費	175,768	188,070
のれん償却額	146,999	162,141
減損損失	286	8,437
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,863	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	634	42,100
受取利息及び受取配当金	△7	△503
支払利息	15,703	24,533
持分法による投資損益 (△は益)	3,651	2,776
固定資産除却損	1,508	1,020
固定資産売却損益 (△は益)	—	△8,011
売上債権の増減額 (△は増加)	△38,370	△24,031
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,070	13,177
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,878	△6,942
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△49,435	37,025
その他	39,530	△127,442
小計	1,115,905	1,219,510
利息及び配当金の受取額	7	503
利息の支払額	△15,636	△24,412
法人税等の支払額	△242,749	△247,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	857,526	948,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△442,781	△111,142
有形固定資産の売却による収入	—	62,610
無形固定資産の取得による支出	△2,844	△4,886
事業譲受による支出	—	△42,727
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△303,282
その他	16,346	10,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△434,280	△388,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	△11,267
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△461,494	△550,278
リース債務の返済による支出	△13,757	△13,504
株式の発行による収入	35,420	—
その他	△4,100	△321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,932	△575,372
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	229,314	△15,549
現金及び現金同等物の期首残高	681,565	910,879
現金及び現金同等物の期末残高	910,879	895,330

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、動物病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、動物病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	282円80銭	363円34銭
1株当たり当期純利益	75円20銭	79円34銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	73円25銭	78円04銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は、2024年6月20日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	558,406	593,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	558,406	593,016
期中平均株式数(株) (うち普通株式)	7,425,502 (6,839,862)	7,474,000 (7,474,000)
(うちA種種類株式)※	(585,640)	(—)
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	198,195	124,831
(うち新株予約権(株))	(198,195)	(124,831)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

※前連結会計年度において当社の発行しているA種種類株式は、剰余金の配当請求及び残余財産の分配請求について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。